



めいほうだより



2024 年

12月号

周南市立徳山小学校

ことばの力

11月13日、詩人、谷川俊太郎さんが亡くなりました。戦後日本を代表する詩人であり、子どもたちが使う教科書にもたくさんの作品が掲載されています。保護者や地域のみなさんも、国語の時間に「生きる」を学習したのではないのでしょうか。

谷川さんが亡くなられたことは、徳山小学校にとっても、大変悲しいことです。それは、一部の山口県内報道機関でも紹介されていましたが、徳山小学校出身の詩人まど・みちおさんと親交があり、まどさんが亡くなられた際に刊行された「まど・みちお詩集」の編集に携わっておられたからです。

谷川俊太郎さんの作品は、日常生活から戦争と平和、そして命まで、親しみやすい平易な言葉で表現されています。その言葉はみずみずしく、時代が変わっても人々の心に伝わってきます。この点では、まどさんの作品にも同じ印象を受けます。先に紹介した「まど・みちお詩集」において、谷川さんはまどさんの作品について、次のように述べています。「まどさんの詩も、最少の言葉で日常の現実の奥の宇宙の現実、科学とは異なる詩のやり方で迫ろうとしているのです。」「まどさんは一生を通じて、ヒトの心と宇宙のつけ根を言葉にしようとし続けた詩人だと私は思います。」

徳山小学校では、「ことばの力」を大切に日々の教育活動に取り組んでいます。改めて、お二人の作品を読んでもみるのもよいかもしれませんね。

最後に、まどさんが1994年に徳山小学校の子どもたちへ送った手紙の一部を紹介します。一回きりの小学校生活を応援する、まどさんからのメッセージです。

「むろん くるしいことや つらいことも あるでしょうが、そんなことは あたりまえで、その くるしいこと つらいことを ひとつずつ かたづけて のりこえていくとき、こんな うれしい たのしいことは ないのです。それを くりかえしているうちに みなさんは じぶんの なりたいような おとな、だいすきな おとなに なるのです。…(略)…うちゅうが そう ねがっている、といったほうが ほんとうかも しれません。」

校長 原田 剛

6年生 修学旅行

11月7日、8日に修学旅行に行ってきました。

1日目は、門司港レトロでの班別研修です。班で計画して、地図（紙）を頼りに協力しながら、見学することができました。その後、いのちのたび博物館で恐竜の化石等を見ました。動く恐竜がすごかったと言って感動していました。スペースラボではゆったりした椅子に座り、プラネタリウムで星を眺めながら、星の学習をしました。ホテルでは、友達と仲良くトランプをしたり話をしたりして過ごしました。普段話していない子とも一緒にいる姿が見られ、修学旅行をきっかけに、友達との関係がもっと広がっていきばいいなと思いました。

2日目は、板付遺跡に行きました。竪穴式住居を見て、歴史の学習を振り返っていました。途中事故渋滞等にも巻き込まれながらも、子どもたちのてきぱきした動きで巻き返し、マリンワールドには時間通りに着くことができました。マリンワールドではイルカショーを見たりお土産を買ったりと笑顔で回る姿が見られました。

「自律と他律を意識し、成長できる修学旅行にしよう。」9月の学年会で、子どもたちに話したことです。今回の修学旅行では『班別研修』を多く取り入れ、自分たちで考え行動できるようになってほしいと思っていました。4月から最高学年として、少しずつ身に付けてきたことが、発揮される修学旅行でした。一番よかったことは挨拶です。お世話になる方への挨拶を欠かさず会釈をしたり反応したりする姿が見られました。普段の学校生活でも続けてほしいと思いました。2日間で学んだことや深めた絆をこれからも大切に、残りの4か月の小学校生活をより充実したものにしていきたいと思います。



今月の行事



日	曜	校内行事
1	日	
2	月	周南公立大学による体育学習（2年）AM
3	火	
4	水	
5	木	学校保健安全委員会 学校運営協議会
6	金	地域活性化フェス（6年）5・6校時 市美展（～8日）
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	地区児童会(5校時)、SC来校日
12	木	
13	金	読み聞かせ（1年） ふれあい餅つき体験（1年）
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	個人懇談①(4校時授業)
20	金	個人懇談②(4校時授業)
21	土	
22	日	
23	月	個人懇談③(4校時授業)
24	火	終業式、給食最終日(4校時まで)
25	水	冬季休業（～1月7日）
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

1月の主な行事

8日(水) 始業式、給食開始(4校時まで)
13日(月) 成人の日
31日(金) 一日入学



5年生 宿泊学習

10月31日、11月1日の2日間、山口徳地青少年自然の家で宿泊学習を行いました。今回のめあては、「大和一致」「自主積極」納得解の話し合いを意識しながら、準備を進めていきました。当日は、どの活動にも元気いっぱいに取り組む姿や、グループで話し合いながら活動を進めていく姿が印象的でした。

1日目の「TAP」では、様々な課題をグループで乗り越える活動を行いました。活動の中で、友達と声を掛け合ったり、手をとり助け合ったりする子どもの姿が多く見られるようになり、協力の大切さをより実感した活動となりました。夜のキャンドルの集いでは、グループごとに練習を積み重ねた出し物を披露したり、火を見つめながら振り返ったりし、仲間との一体感を味わっていました。



2日目の「野外炊飯」では、雨の中、カレー作りを行いました。火がなかなかつかず、大苦戦。その分、班を超えて協力し合う姿も見られました。



子ども達の振り返りには学んだことが記されています。「協力」「声をかけ合う」「話を聞く」など。一人ひとりのこの二日間での学びを、これからの生活に生かしていくことで、子どもたちのさらなる成長につなげていきたいと思えます。



「ホッ！」とライン

～特別支援教育・生徒指導・教育相談便り～⑧

「季節の変わり目」は、「体調の変わり目」なのでしょうか。11月は欠席が多くなりました。県内でも、インフルエンザやマイコプラズマ感染症、手足口病の発生が続いています。加えて、病気とまでは言えないけれど体調を崩す人がいます。理由の一つとして、気圧の変化が考えられます。秋は、台風が発生することもあり、日によっては低気圧が強くなります。その気圧の変化を内耳が感じて、体のバランスを保つ部分が脳に伝達しストレス反応（めまい、血圧の上昇、抑うつ）が出ることがあります。その対策としては、睡眠と朝食、湯船に浸かることが有効です。また、軽い運動も自律神経を整えます。「軽い」がポイントですので、自分のペースでランランタイムを続けようと思います。

養護教諭 大塚 由紀子